

令和5年度 第1回（第11期）浦安市廃棄物減量等推進審議会（議事要旨）

1 開催日時 令和5年10月3日（火）午前10時30分～11時30分

2 開催場所 浦安市役所4階 災害対策本部室

3 出席者

（委員）

下田会長、河井副会長、新井委員、奥山委員、廣田委員

中田委員、天沼委員、宮崎委員、石井委員、加納委員、飯田委員

（事務局）

小嶋環境部長、丸山環境部次長、関口環境部副参事、

松山クリーンセンター長、三上課長補佐、柳原係長、原田主事、大塚主事

4 次第

（1）開会

（2）議題

1）議題1 令和4年度のごみ排出量の実績について

2）議題2 「浦安市食品ロス削減推進協力店」登録制度について

3）議題3 プラスチックごみの再生に関する調査・検討について

（3）事務連絡

（4）閉会

5 会議経過

議長が議事を進行した。

委員の交代に伴い、副会長の選任について、「河井委員を副会長に推薦する」旨が提案され、委員全員がこれを了承した。

1) 議題1 令和4年度のごみ排出量の実績について

・説明（事務局）

令和4年度のごみ排出量の実績について説明した。

・主な意見

委員：再資源化量の一覧に記載されている焼却処理の溶融・焼成は焼却灰から再資源化した量ということか。

事務局：焼却灰から再資源化した量である。

2) 議題2 「浦安市食品ロス削減推進協力店」登録制度について

・説明（事務局）

「浦安市食品ロス削減推進協力店」登録制度について、制度内容、進捗状況、今後のスケジュールについて説明した。

・主な意見

委員：現在まで何店舗回ったのかお聞きしたい。また、訪問した際に、ヒアリングをして登録されていると思うが、認定しているということか。

事務局：8月後半から訪問を始めて、実際に訪問したのは40店舗ほどとなる。そのうち、30店舗が登録してくれている。

制度については、前回の会議で委員から、認定の場合は基準を満たしているかの判断が必要との意見があり、事務局で検討した結果、認定ではなく、何かしらの食品ロス削減につながる取組を行っていれば可能とし、事業者の皆様が登録しやすい制度とした。

委員：今後も、店舗を訪問する予定か。

事務局：今年度中も店舗の訪問を予定しているが、市内すべての店舗を回るのは現実的ではない。現在は本制度が開始してまだ間もないため訪問を中心としているが、ホームページ等で広報を進めて認知度が上がれば、事業者からの登録依頼もあろうかと思われるので、今後は事業者への周知の強化を図っていきたいと考える。

委員：食品ロスの対策ということでもとても身近で興味深い話であった。食品ロス削減につながる取組が節約行為であったり、漠然としたSDGsという解釈にならないよう、具体的なメリットの提示があれば登録事業者も増えると思った。また、12月に制度を公開ということだが、いろいろな店の取組が周知されれば市民として親しみが持てるので、たくさん出してもらえればと感じる。

3) 議題3 プラスチックごみの再生に関する調査・検討について

・説明（事務局）

プラスチックごみの再生に関する調査・検討について、調査内容及び今後のスケジュールについて説明した。

・主な意見

委員：昨年度、プラスチックごみの再資源化について、なかなか難しいという話を聞いていたので、ここまで話が進み、着々と進められているなど感じた。浦安市の場合、燃やせるごみとして排出されCO₂を出してしまうため、ぜひ進めていただきたいと思う。

そこで、プラスチックごみの対策について実施している自治体があれば教えていただきたい。

事務局：確認をしているのは渋谷区や江東区であり、東京都が進んでいる。

プラスチックごみは再資源化を進めるよう法律でも努力義務として定められており、進めていく方針ではあるが、設備等が整うのを待つて進めるべきなのか、費用をかけてでもすぐやるべきなのか、市の方向性を定めるために基礎資料を作成し、検討をしていきたい。

その他連絡事項

議事要旨等の確認についての会長一任と議事要旨の公開、報酬の支払いおよび次回の開催に関することについて連絡した。